

# 日本の明るい未来を切り開く『新コンセプト・新テクノロジー』

主催：一般社団法人 日本ゴム協会  
 協賛：日本化学会、高分子学会、自動車技術会、石油学会、繊維学会、日本機械学会、日本接着学会、  
 日本合成樹脂技術協会、日本材料学会、日本複合材料学会、プラスチック成形加工学会、  
 マテリアルライフ学会、日本トライボロジー学会、日本レオロジー学会（順不同）

日本人は創意と工夫で幾度も波を乗り越えてきました。目の前の波を乗り越えるのにも新しい概念、新しい技術が必要です。そこで、新しい方法論を展開しておられる先生方を講師にお迎えし、ソフトマテリアルから明るい未来を切り開くための夏期講座を企画しました。多彩な講師陣を囲んで、未来を語り合しましょう！

開催日：2013年7月4日（木）～5日（金）

場所：講座 東京電業会館 地下ホール  
 東京都港区元赤坂1-7-8 TEL 03 (3403) 5181(代)

エキスカージョン 隅田川屋形船から臨む東京スカイツリーの夕べ

定員：講座 80名 エキスカージョン 60名 いずれも定員になり次第締切ります

受講料：（6月20日（木）まで）会員28,350円、会員外44,100円、学生会員5,250円

（税込み）シニア制度対象会員 14,175円（60歳以上の正会員）

（6月21日（金）以降）会員33,600円、会員外44,100円、学生会員5,250円

シニア制度対象会員 16,800円（60歳以上の正会員）

※含消費税、テキスト代 賛助会員・協賛団体会員は2名まで会員扱い

エキスカージョン参加料 10,500円（税込）

申込方法：便利なインターネット <http://www.srij.or.jp/> からの申し込みが出来ます。

または申込み欄にご記入の上、FAXまたはEメールにてお申込みください

送金方法：現金書留または銀行振込（三井住友銀行日比谷支店 普通No.7100847 一般社団法人日本ゴム協会）。振り込み手数料は受講者側でご負担ください。

領収証が必要な方は申込書備考欄にその旨お書き添えください。一度ご入金された受講料は返金いたしかねます。開催日が近づきましたら、開催に関するご案内を発送いたします。

申込先：一般社団法人 日本ゴム協会 第49回夏期講座 係

（〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階

FAX 03 (3401) 4143 TEL 03 (3401) 2957 Eメール nakagawa@srij.or.jp

演 題

講 師・座 長

## 【7月4日（木）】

10：10～10：15 開講のあいさつ （一社）日本ゴム協会会長・第49回夏期講座運営委員長 五十野善信  
 （特別講演①） 【座長】東北大学 中嶋 健

10：15～11：45 物質文明から生命文明への離陸 東北大学大学院 環境科学研究科教授 石田秀輝氏  
 （講演概要） テクノロジーや企業の役割は人を豊かにすることである。厳しい地球環境制約の中、人を豊かにするためには何を考えなければならないのか？ライフスタイルに責任を持つ新しいテクノロジーのかたちについて考えてみたい。

【座長】(株)ブリヂストン 小澤洋一

12：40～13：50 セルロースナノファイバー 広がる用途開発 京都大学 生存圏研究所教授 矢野浩之氏  
 （講演概要） セルロースナノファイバーは、植物が作る軽量、高強度、低熱膨張のナノファイバーである。本講義では、様々な分野で進む用途開発や表面科学変性等について紹介する。

14：00～15：10 これからのクルマに求められる有機材料 トヨタ自動車(株) 有機材料室室長 永井隆之氏  
 （講演概要） 近年、新興国での自動車普及等、自動車を取り巻く環境は大きく変化し、持続可能な社会を目指し、環境に優しいクルマが求められている。軽量化、植物由来樹脂、燃料多様化への対応など将来の自動車用樹脂材料に求められる期待について着眼点を提案する。

【座長】長岡技術科学大学 五十野善信

15：20～16：40 東京スカイツリー®の建設 ～世界一の高さへの挑戦～ (株)大林組 設計本部副本部長 橋本康則氏  
 （講演概要） 事務所ビルのように約4m毎に床のある超高層ビルと異なり、途中階にほとんど床のない高さ634mの世界一の電波塔の建設に当たり、種々の独自技術の採用と工夫により困難を克服した施工面を中心に話題を提供したい。

18：00～20：30 エキスカージョン 隅田川屋形船から臨む東京スカイツリーの夕べ

## 【7月5日（金）】

【座長】JSR(株) 清水智信

9：30～10：30 宇宙用生命維持技術が求める新素材 一生命維持技術紹介—  
 （講演概要） (独)宇宙航空研究開発機構 未踏技術研究センター研究計画マネージャー 大西 充氏  
 宇宙用生命維持技術の紹介として国際宇宙ステーションで実現されている生命維持システムを簡単に解説し、当該技術が求めている新素材を簡単に提示する。

10：30～11：30 ゴム・エラストマーの医療応用と参入の考え方 医療機器技術情報協会代表 川端隆司氏  
 （講演概要） 誤解に基づくPL、薬事承認バリエーション等を理由として参入に躊躇する企業が多い。この分野でのゴム・エラストマーの応用と、参入の留意点、勘所について説明する。

【座長】横浜ゴム(株) 網野直也

12：30～13：30 アクセシブルデザインと高齢者・障害者配慮設計に関する実践研究  
 （講演概要） 国立特別支援教育総合研究所 教育情報部主任研究員 土井幸輝氏  
 少子高齢化が進む中、高齢者・障害者配慮設計の理念を取り入れた製品・サービスが求められている。ここでは、アクセシブルデザインと高齢者・障害者配慮設計に関する最新情報と実践研究を紹介する。

13：30～14：30 スマートラバー技術の健康・介護関連商品への応用 東海ゴム工業(株) SR研究室担当次長 吉川 均氏  
 （講演概要） 将来の高齢化社会で需要増大が予測される介護分野において、人間と直に触れ合うことに違和感の少ないセンサーやアクチュエータを目指し、スマートラバーの材料開発を行っている。それらについて述べる。

【座長】(株)日産アーク 加藤 淳

14：40～15：40 **電動車用リチウムイオン電池技術** 日産自動車(株) 先端材料研究所研究員 大澤康彦氏  
 (講演概要) 電動車用リチウムイオン電池 (LIB) が出現した背景, 歴史, 高出力 (HEV用) および高エネルギー (EV用) LIB, 将来の高エネルギーLIB候補, 有機材料への期待などについて述べる.

15：40～16：40 **エネルギーを効率的に使用するための潜熱蓄熱材料** JSR(株) 高分子材料開発室主任研究員 鼎健太郎氏  
 (講演概要) 環境中に排出される排熱や安価な夜間電力の有効利用を目的として, 熱エネルギーの貯蔵技術に注目が集まっている. 本講演では, 潜熱蓄熱材であるn-パラフィンとエラストマーからなるゲル型潜熱蓄熱材料について, その特徴と具体的な応用例について説明する.

16：40～16：45 **閉講のあいさつ** (一社)日本ゴム協会関東支部長・第49回夏期講座運営委員代表 清水智信  
 プログラムは一部変更になる場合がございますのであらかじめご了承ください

<申込書>

所定事項記入のうえ, FAX かメールでお送りください FAX 03 (3401) 4143 E-mail : nakagawa@srij.or.jp  
 インターネット <http://www.srij.or.jp/> からもお申込み可能です

参加者名		担当者名	
		(所属)	
連絡先住所 住所は必ずご記載ください			
〒 _____			
所属		部署	
TEL ( )		FAX ( )	
E-mail			
受講料	エキスカーション参加費	合計*	備考
<b>期限内 (6月20日(木)まで)</b> <input type="checkbox"/> 正会員 28,350円 <input type="checkbox"/> 賛助会員 28,350円 <input type="checkbox"/> 協賛会員 28,350円 (団体名 ) <input type="checkbox"/> 学生会員 5,250円 <input type="checkbox"/> シニア 14,175円 <input type="checkbox"/> 会員外 44,100円	<input type="checkbox"/> 10,500円	_____円	
<b>期限後 (6月21日(金)以降)</b> <input type="checkbox"/> 正会員 33,600円 <input type="checkbox"/> 賛助会員 33,600円 <input type="checkbox"/> 協賛会員 33,600円 (団体名 ) <input type="checkbox"/> 学生会員 5,250円 <input type="checkbox"/> シニア 16,800円 <input type="checkbox"/> 会員外 44,100円			

印は✓印を付すること。 \*印は該当欄合計金額を記入してください。  
 送金 月 日頃振込み予定 請求書 要 不要

- ・船宿手配の都合上, エキスカーション申込みは6/28(金)で締切ります
- ・ご宿泊は各自でご手配ください